

会 議 録

会議の名称	平成25年度第1回行田市男女共同参画推進審議会	
開催日時	平成25年7月17日(水) 開会；午前10時00分・閉会；午前11時50分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者(委員)氏名	田代美江子委員(会長)、山崎孝子委員(副会長)、井上文子委員、茂木美智代委員、山岸泰輔委員、筆 容三委員、西山カツ枝委員、青木敦子委員、矢本政子委員、松島 弘委員、大野久美子委員 (名簿順、敬称略)	
欠席者(委員)氏名	武井知英子委員、田島和文委員	
事務局	風間祥一(部長)、菅原広志(所長)、大澤永江(主査)	
会議内容	(1) 平成24年度VIVAぎょうだ実施事業報告について (2) 第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果について (3) 各種団体等への委員の選出について	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度VIVAぎょうだ実施事業報告(平成25年度第1回審議会資料) ・平成24年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果 ・委員推薦依頼文の写し 	
その他必要事項	傍聴者なし	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	平成25年8月9日	⑩

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 会長あいさつ ・ 新委員の紹介 ・ 市職員紹介、事務局職員異動の報告 ・ 配布資料の確認 ・ 議長の選出（会長）
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、議長を務めさせていただく。 ・ 本日の会議は委員の過半数が出席しており会議は成立している。 ・ まず、事務局に確認する。本日の会議において非公開とする事項はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非公開とする事項はなく、会議の傍聴希望者もない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第に基づき議事を進行する。 ・ 議事の（１）平成２４年度V I V Aぎょうだ実施事業報告について事務局に説明を求める。
事務局	<p>（会議資料、「平成２４年度V I V Aぎょうだ実施事業報告（平成２５年度第１回審議会資料）」の細部説明）</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局から説明があったが、委員から意見、質問などあるか。 ・ 私からひとつ質問したい。第２回庁内DV対策連携会議の会議内容に住民基本台帳データについて（報告）とあるが、その議題について詳しく知りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民基本台帳システムのDV情報について、他のシステムと連動できるかについて話し合った。結論としては、住民基本台帳

議長	<p>システムの情報を他のシステムと共有することはできないことがわかったので、DV情報については、市内DV対策連携会議の場などで引き続き共有することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者を加害者からどのように守っていくかということで議題にあげたと理解してよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議では、年度途中までのVIVA実施事業の進捗状況について事務局から報告いただいた。その事業報告を参考とし平成25年度の事業について議論し、委員から色々意見をいただいたが、あらためて意見を伺いたい。 ・前回の会議では、男性料理教室ばかりでもどうかという意見も出された。
西山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1月に実施した、リーダーステップアップ講座「孤独死」への取組は、講座に参加した人の評判がすごくよかった。もっと多くの方に参加していただけるよう、こういった講座を増やしていてもいいと思う。
山崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2月に実施した国際交流イベントは62名の参加があった。私は参加できなかったが、国際交流については男女共同参画の視点からも重要であると思う。1回で終わらせず、2回3回と続けてほしい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・この国際交流イベントの具体的な内容について知りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本市出身の青年海外協力隊帰国隊員2名による体験談と、市内

	<p>に居住する外国籍の方たちが郷土料理をふるまい、食を通じて異文化に触れるという2部構成で実施した。地域づくり支援課協働推進担当と共催で行ったイベントであった。</p>
山崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の年齢層は。子どもたちも参加していたか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・夜の講座だったので、小さい子どもは少なかった。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を持っている女性など、女性が生きるための心の持ちようというワンポイントみたいな講座があるといいと思う。 子どもが小さいときの講座はいくつもあるが、子どもも成長し女性が自身の生きていくうえでの、人間関係の悩みを解消する講座や仕事に関する知識を向上させる講座などができればいい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の観点とは異なった男女共同参画の視点で取組む講座があっていい。 ・男性料理教室も悪くないが、男性が子育てに関わる講座もあっていい。 ・ビューティアップ講座はどうだったか。
山崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・興味があったので参加した。若い人が多かった。メイクアップの仕方や肌の手入れなど、なるほどと思うこともあったが、やはりある程度お金がかかることなので・・・。 ・リーダーステップアップ講座は衝撃的だった。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度の事業はもう決まっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議で、時期と講座について審議会の承認をいただいた

	<p>が、講座の内容は変更も有り得るということで承認いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理教室だけでなく色々な講座を開催したい。
松島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この間、社会を明るくする運動行田地区大会に参加し犯罪被害者の話を聞いた。大変多くの人が集まっていた。そういう話を聞くのもいい。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に目を向ける講座がいい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の話にはインパクトがある。孤独死もそうだし。
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容の中で、一番多いのが離婚、次に夫婦関係と続いているが、相談となる前に解決できるような講座ができればいいと感じた。追い込まれる前に夫婦関係に関する講座があってもいい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりサロンのような、愚痴を言える場があれば随分違う。
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いてくれる人がいるということが重要。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容や実態から講座を考えることは重要なこと。
西山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識を高めるために、フォーラムは大規模に開催したほうがいい。 ・予算的にどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度まではお金をかけて著名人を呼んでいた。 ・昨年からお金をかけない方法でフォーラムを開催するようにした。

西山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 著名人を呼ぶ必要はない。多くの人に来てもらって聞いてもらうことが重要。
大野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的な人の講座は人が集まる。 ・ 離婚や引きこもり、登校拒否など多くの問題の原点は親から代々引き継がれる人間学である。道徳、生き方、人間学を大人も子どもも学ぶ場がない。 ・ ロータリークラブは有名なお坊さん呼んで講座を開催している。多くの人が集まっている。
松島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画とは何ぞや、みたいなことをやったらいい。
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談の中で、「生活経済、生き方」についての相談も多い。先日、社会保険労務士である井上委員に年金講座として話をしてもらった。そうした講座をやるのであれば井上委員にお願いしたらいい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に議事の（２）第３次ぎょうだ男女共同参画推進プラン進捗状況調査結果について、事務局に説明を求める。
事務局	<p>(会議資料、「平成２４年度分第３次ぎょうだ男女共同参画推進プラン進捗状況調査結果について」の細部説明及び調査における評価方法、基準等について補足説明)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の意見は今日確定するわけではないとのことなので、委員から意見をいただきたい。 ・ 資料の最後の、審議会等への女性の登用状況（平成２４年度）は公表されるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公表する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・確認だが、調査結果の中の「事業内容」について、各部署は所管の「事業内容」を達成するための目標を年度初めに出しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとの目標は出してもらっていない。プラン策定時に、男女共同参画社会実現のため各所属で必要な取組、課題として挙げてもらったものが事業内容となっている。
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課の回答がないようだが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課からの回答が遅れたため、委員に事前に配布した資料には載っていない。既に福祉課から回答は来ているので公表段階では載せる。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は各担当がしているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当の自己評価である。
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業内容だけでは中身が見えない。もう少し評価を積極的にやるのであれば、進捗状況調査をする前に各部署の代表者に説明をするとか、こういうことを望んでいるとか、V I V Aとしてこうしたい、ということのを的確に伝えていかなければならない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・プランは全部署に亘っているものなので、どこまでやれるかという問題もある。

井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも事業の内容が目標で良いのかという議論があると思う。 ・例えば、防災のところで、これまで女性の委員が1人もいなかった会議に2人の女性委員を加えた。女性委員の数はまだまだ少ないとしても、これはB評価でなくA評価でいいと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成は、登用率の目標を満たしたときはじめて達成になる。 ・各部署の評価基準がかなり曖昧。 ・調査結果の審議会委員意見欄にひとつずつ意見を入れていく方法もあるが、調査結果全体について大きな視点から意見として入れていくのもいいのではないかと思う。
西山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・21ページ、子どもにとっての男女共同参画の事業実績はいいと思う。大人対象のものが多い中、子どもの頃から男女共同参画の意識付けを自然とすることは重要である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標だけで目標達成を測ることに疑問がある。例えば、4ページ、学校給食調査研究委員会、委員13名中、女性11名登用とありA評価となっているが、これをAとしていいのかは疑問。「給食」だからこそ女性に偏っているというのが現実で、女性が多ければいいということではない。男女共同参画の視点からすると、委員は男女半々とするべき。
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動は女性の参加は65%と多いが、男性の参加は少ない。公民館活動も男性を取り込むためいろいろ工夫している。参加人数だけにとられると目標達成度を見誤ることになる。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・人数増やせばいいということではない。 ・プランの評価は、せっかく作ったプランをどう実現していった

山岸委員	<p>ほしいかという内容でもいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署からあがってきたもののほか、こういう考え方、取組ができないかという意見が付けられればいいと思う。ひとつひとつではなく全体を見渡してというのでもいいと思う。 リーフレットの配布やポスターの掲示などが実績としてあがっているが、配布しただけで終わってしまっているのか。配布したことにより効果やリアクションがどのくらいあったかわからないと評価できない。何部配布して何部残ったのかということ意識することによって随分変わってくると思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> こういう視点から評価してほしいと各部署に示す必要がある。
青木委員	<ul style="list-style-type: none"> 昨年、V I V Aの情報誌を高校生が編集した。地元の中学生在が、先輩が載っているということで公民館まで情報誌をもらいに行った。子どものうちから興味を持たせるためにも、こういった取組は続けてもらいたいし、評価はCではなくAでいいと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> その取組に対し、どんな効果があったかを出してもらい、その効果に対し評価するという方法もある。 A B C Dという評価を考え直す時期に来ているのかもしれない。 新たな取組をしたかという評価基準もある。 女性の数が多ければいいというものではない。男性の地域参加も課題としてある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 委員指摘のとおり、評価基準がきちんと定まっていない中で、自己評価させるところに無理がある。 審議会の意見としては、総括的な意見でも構わない。 評価のところは、今日の審議会の意見を踏まえて、これから各

議長	<p>部署と補正していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中の公表となるが、少し時間をかけたい。 ・これだけの項目が挙がっているので、それなりに評価はしたい。 ・数だけの問題でなく質の問題、どれだけ効果があったかが見える形にしていきたい。
筆委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業で予算を減らされたものは、事業を他の主体と共催するなど工夫を凝らしている。人も集めやすい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、V I V Aの事業を進めていくうえでの示唆になると思う。 ・審議会への女性の登用状況だが、女性委員がゼロのところには努力してもらうことが必要。10%台もどうか。行田市国民保護協議会は22名もいて女性委員はゼロ。 ・防災会議が女性委員ゼロから2名になったところを評価したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今日いただいた意見とプランの理念について、課長級職員で構成する行政推進会議の場であらためて伝えていきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に議事の(3)、各種団体への委員の選出について、事務局に説明を求める。
事務局	<p>(行田市人権施策推進審議会委員の推薦依頼文書に基づき説明。事務局案として山崎委員を推薦することを提案。)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎委員、いかがか。
山崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。

議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それではお願いします。 ・ 以上ですべて議事はすべて終了した。 ・ 事務局から何かあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現委員は、平成25年7月24日をもって任期満了となる。今回の会議が現委員での最後の会議となるので、市民生活部長から一言お礼の言葉を述べたいが、よろしいか。 <p>(「どうぞ」の声あり。)</p>
風間市民生活部長	<p>(お礼の言葉)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これをもって議長の任を解かせていただく。事務局に返す。
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉会の言葉を山崎副会長にお願いします。
山崎副会長	<p>(閉会の言葉)</p>